

中学生が要望と検討

生徒会で学ぶ自治

見解を示す生徒会



より良い生活 最善策は

新宮市立城南中学校の生徒会総会が19日、同校であった。全校生徒180人が参加。クラスで協議して決めた、学校生活におけるさまざまな要望を、生徒会や担当委員会に求め、返答を得た。平成29年度の活動や決算の報告、平成30年度の予算の提案を受け、いずれも可決承認した。



クラスで協議した要望を発表

生徒会への要望として、「昼休みの音楽放送の音量を上げてほしい」との声があった。生徒会は「音量は職員室前のス

ピーカーでも上がり、お客さんがいてもうるさくて話が聞こえなくなる」として理解を求めた。保健体育委員会への要

望は、「雨の日に体育館を開放してほしい」「昼休みに体育館で卓球をできるようにしてほしい」などがあった。同委員会は「体育の授業で使う用具などが出しているため危険」と答え、取り下げとなった。

図書委員会に対しては「図書室の小説やまんがを増やしてほしい」との求めがあった。同委員会は特定ジャンルを司書と検討中であると明かしたほか、「要望があれば紙に書いて要望箱に入れておいて」と応じた。

環境委員会には「短いほうきばかりなので長いのがほしい」「立ってぞうきん掛けできる棒がほしい」「ウェットティッシュみたいな便座クリーナーを」などの声があ

げられた。同委員会は「ほうきは相談して短長のもを全校に振り分ける」としたほか、残りの2つの要望は「検討する」と述べた。

学校に対する要望は生徒会に対してあげられた。生徒会を説得できた要望は文書にして学校へと提出することになる。

「熱中症予防のため、エアコンを28度からつけてほしい」「インフルエンザ予防のため、各教室に空気清浄器がほしい」などの声に対し生徒会は、予算などの関係で困難と見解を示しつつも「要望はしてみる」と返答した。

各種要望に先立ち、生徒会の副会長があいさつ。「城南中をより良くするため、ひとつでも多

くの要望を発表してもらえれば」と話していた。本年度予算の提案のほか、生徒会や委員会の目標や活動計画の発表もあった。生徒会は▽何事も楽しんで▽あいさつをしつかり▽ルールを守るなどを目標に取り組みことを語った。(瀬戸正善)

- ◇ヨガ教室で腹式呼吸学ぶ ② (伊勢路)
- ◇紀南文芸の広場 ③
- ◇熊野の歴史文化に触れる ④
- ◇和歌山県政ホスト利用状況 ⑨
- ◇警察官の仕事を知る ⑩